

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

←の部分が2016年8月3日付けで変更になりました。

[適用害虫と使用方法]

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びペルメトリンを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	使用時期	総使用回数※	使用方法
かえで	ゴマダラカミキリ	—	—	【専用ノズルつけかえ方式】 容器のボタンを引き抜き、専用ノズルにつけかえ、食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から逆流するまで噴射する。
かんきつ		収穫14日前まで	6回以内	
いちじく	クワカミキリ	収穫前日まで	2回以内	
びわ びわ(葉)		収穫7日前まで	3回以内	
りんご	ヒメボクトウ	収穫後から 摘果期まで	本剤：2回以内 ペルメトリン：4回以内 (散布は2回以内、噴射は2回以内)	
つつじ類・ つばき類等の 花木	ツツジゲンバイ チャドクガ	—	—	
さくら	ケムシ類			
ばら	アブラムシ類 ハダニ類 チュウレンジハバチ			
きく	アブラムシ類			

【効果・薬害等の注意】

- 食入部に使用する場合、逆流した薬液が収穫物にかからないよう注意してください。
- かんきつのゴマダラカミキリに使用する場合、幼虫の食入が進むと効果が劣る場合がありますので、食入初期に使用してください。
- りんごの使用時期の摘果期は落花2ヵ月後までとしてください。
- 使用前には容器を十分振ってください。また、30秒以上連続して使用する場合は一度中断し再度容器を振ってから使用してください。
- 日中高温時、強風時、降雨前の使用はさけてください。
- ばら、きく及び花木に使用する場合は、植物から必ず30cm以上離れた所から1～2秒間ずつ断続して茎葉がぬれる程度に噴射してください。特に新芽、新葉、蕾、花卉には十分注意してください(冷害)。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全全使用上の注意】

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。人に向かって噴霧しないでください。
- 通常の使用方法では危険性は低いですが、取扱いに注意してください。使用中に身体に異常を感じた時は直ちに医師の手当を受けてください。

- 眼に入らないように注意してください。万一眼に入った場合は直ちに水洗してください（弱い刺激性）。
- 散布時は、マスク、手袋などを着用してください。噴射した霧を吸い込んだり浴びたりしないように注意してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意してください。
- 散布時や散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮してください。
- ミツバチ及び蚕に影響がありますので、注意して使用してください。
- 使用に当っては金魚鉢、水槽、池などに噴霧が入らないよう注意してください。
- 使用後の空缶は、戸外でボタンを押してガスを出しきったことを確認してから処理してください。

治療法：メトカルバモール製剤の投与が有効です（動物実験で報告）。